

2023年度 通信教育実施計画

教科	情報	科目	社会と情報	単位数：2単位
情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。				
スクーリング	1単位時間×4回	合格時間数：2時間以上	教科書	東京書籍 社会と情報
レポート	全4通	合格通数：4通	副教材	なし
メディア学習	全6通	合格通数：6通	単位認定試験対策プリント	4通
高校通信講座	あり	講座数：全20回	単位認定試験	12月 ※8月、1月、2月
評価	5段階評定、観点別評価の実施			

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習 確認書
4月	情報の活用と表現	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用するために、情報の特徴とメディアの意味を理解させる。 情報のデジタル化の基礎的な知識と技術及び情報機器の特徴と役割を理解させるとともに、デジタル化された情報が統合的に扱えることを理解させる。 情報を分かりやすく表現し効率的に伝達するために、情報機器や素材を適切に選択し利用する方法を習得させる。	前期2回	No1 提出	No1 No2 提出
5月	情報通信ネットワークと コミュニケーション	情報通信ネットワークの仕組みと情報セキュリティを確保するための方法を理解させる。 情報通信ネットワークによりコミュニケーションの幅が広がることを理解させる。 コミュニケーション手段の発達をその変遷と関連付けて理解させるとともに、通信サービスの特徴をコミュニケーションの形態とのかかわりで理解させる。		No2 提出	
6月		情報通信ネットワークの特性を踏まえ、効果的なコミュニケーションの方法を習得させるとともに、情報の受信及び発信時に配慮すべき事項を理解させる。			
7月		復習/単位認定試験※対象者のみ			
8月	復習	半期の学習内容の復習	後期2回	No3 提出	No3 No4 提出
9月	情報社会の課題	情報化が社会に及ぼす影響を理解させるとともに、望ましい情報社会の在り方と情報技術を適切に活用することの必要性を理解させる。		No4 提出	
10月	情報モラル	個人認証と暗号化などの技術的対策や情報セキュリティポリシーの策定など、情報セキュリティを高めるための様々な方法を理解させる。 多くの情報が公開され流通している現状を認識させるとともに、情報を保護することの必要性とそのための法規及び個人の責任を理解させる。			
11月	情報社会の課題と情報モラル・望ましい情報社会の構築	情報システムの種類や特徴を理解させるとともに、それらが社会生活に果たす役割と及ぼす影響を理解させる。 人間にとって利用しやすい情報システムの在り方、情報通信ネットワークを活用して様々な意見を提案し集約するための方法について考えさせる。 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して問題を解決する方法を習得させる。	単位認定試験		
12月・1月	復習	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			
2月					